

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2023年
3月2日
第146号



ホンコンシュスラン (ラン科)

温室の中で花が咲きました。東アジアから中国南部原産の常緑性のランの仲間です。花は唇弁がねじれてながら穂状に咲き、多肉質で卵形の葉が基部からロゼット様に出て、葉脈の縞模様が美しく、園芸用としてよく栽培されています。英語での通称名は jewel orchid で、そのまま直訳すれば宝石のようなランです。ただ、この英名はいくつか異なる複数の種を指しますが。和名にあるシュス（縞子、朱子）とは、織物の一種で、葉の表面のさわり心地がそれと似ていることから。そんなキレイな葉を持つ本種の中国語名は、日本漢字にすると「血葉蘭」と書き、全草がそのままケツヨウランまたはセキジョウグウ（石上藕）という名の生薬になり、中医学で補陰薬として、滋陰潤肺、健脾、安神を目的に、結核時の咯血、食欲不振、神経衰弱に使用するそうです。

ブーゲンビリア

(オシロイバナ科)

同じく温室内で、花が咲いています。南アメリカ大陸の熱帯雨林原産の低木です。赤紫色の花弁のように見える部分は、花を取り巻いている苞葉で、実際の花はそれらの中央部にある白い部分です。中国語での植物名は、日本漢字で「葉子花」と書くので、まさに葉の花となっています。ブーゲンビリアは植物の属名で、代表的な種としては、イカダカズラ、テリハイカダカズラなどがあり、本園の種はそらくイカダカズラです。花を原料にして、中国語での植物名と同じ、ヨウシカという生薬となり、中医学では活血調経、化湿止帯を目的に、婦人帯下、月経不順に使用されるそうです。インドの伝統医学、アーユルベーダでは、葉を胃酸過多、下痢、咳、咽喉痛に使用するそうです。ヨーロッパの植物療法では、苞葉をハーブティーとして咳、咽頭痛への対応と解毒を目的に使用するそうです。